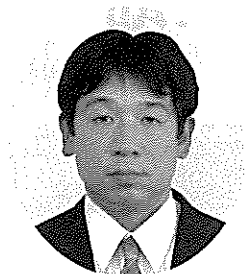


第38期日本アス・日新防水技術者養成校を修了して

大切な建物を“水”から守る “これから”に活かせる貴重な経験

棚田建材(株)(兵庫県)

みなうち ひでき
皆内 秀樹氏(38歳)に聞く



自動車部品の販売をしていましたが、父が住宅リフォーム工事に従事しており、いずれは私も建築に関わる仕事に就きたいと考えていました。たまたまハローワークで棚田建材の社員募集を知り、防水業界は未経験ながらも同社ホームページなどを熟読して、防水工事の概略はしゃべれる程度に勉強して面接にのぞみました。応募者十数名の中から私の“熱意”が認められ、今年4月に採用されました。「営業・現場管理担当」として入社し、先輩の指導や施工現場での見学、講習会への参加など、材料・工法の勉強をしていましたが、施工の経験がなく、建築の基礎から勉強したいと思っていました。

分かりやすい講義で理解を深める

実習では、アスファルト防水・トーチ工法・シングルなどの施工方法などを学び、実際に施工する貴重な体験をさせて頂きました。熱アスでは、立上り・入り隅の施工が難しくうまくできませんでした。現場で職人さんがアスファルト防水などを施工する姿を何回も見ていましたが、実際に自分で施工してみても改めて彼らの技能のすばらしさを実感しました。カタログを見るよりも手に触れて実際にやってみることで、端部納まりのポイントや安全管理方法などの理解を深めることができました。また工場でのルーフィングの製造工程の見学では、材料の品質・性能などを知ることができ、施工方法だけでなく材料の性能にも関心を持つようになりました。材料と施工が一体となり優れた防水層が提供できることを改めて認識しました。

講義内容は建築の構造から防水・調査診断まで多岐にわたりましたが、自分の経験を話してくれた講師の方や実際の業務に役立つポイントを教えてくれた講師の方など内容が分かりやすく、楽しかったです。養成校では防水技術・技能を通して“仲間になろう”という雰囲気を感じました。講師の方も自分の子供に教えるような家族的な温かさがあり、入校生の所属会社が異なっても全体として“日アス組”を感じ、とても和やかな中で勉強に集中することができました。

同期との交流は代えがたい財産

今回の入校者は年齢層も幅があり、全国各地から参加していましたので、防水に対する考え方や地域の施工方法の特性なども学ぶことができました。また仕事だけでなくプライベートでも困った時に相談できる仲間巡り合えたことは大きな財産になったと思っています。養成校で基礎を学び自信ができました。多くの卒業生が現場で活躍している理由が分かったような気がします。後輩達にも養成校への参加を勧めたいと思っています。あつという間の2週間でしたが、養成校の経験をこれからの業務に活かしていきたいと思います。今後、経験を積み後輩を指導する立場になった時に、講師の方々のように分かりやすい説明ができる人間になりたいと思います。今後も学ぶ姿勢を忘れずに知識を深め、大切な建物を“水”から守り、社会に貢献していきたいと思っています。